

| 年 | 欧州(ロスチャイルド) | ロマノフ朝～ロシア革命～ | アメリカ(ロックフェラー、モルガン) |
|------|--|---|--|
| 背景 | 旧態依然の「4つの帝国」を崩壊を目論む。「4つの帝国」とは、【1】ドイツ＝ホーエンツォレルン帝国、【2】オーストリア＝ハンガリー二重帝国(ハプスブルク家)、【3】ロシア帝国(ロマノフ家)、【4】東欧中東のオスマン・トルコ帝国 | ★ロマノフ朝は世界最大の未開拓市場だった ★当時のロマノフ王は世界最大級の資産を有していた | ★隙あらば、世界の石油・資源を中心とした市場の開拓と独占を指向 ★その1つが、ソビエト市場の独占支配 |
| 1810 | ロンドン証券取引所の支配者フランシス・ペアリング死去。ネイサン・ロスチャイルドが新しい支配者となり、世界の金融王として台頭 | | |
| 1814 | 東インド会社のインド貿易独占権が廃止(→ロスチャイルドが利権支配) | | |
| 1815 | ワーテルローの戦いでナポレオンは敗れる。このときイギリス勝利の速報を操作したネイサン・ロスチャイルドが莫大な富を築く | | |
| 1828 | 製鉄業に進出 | | |
| 1835 | 鉄道事業に進出 | | |
| 1837 | ニューヨークにベルモント商會を創業 | | |
| 1845 | 北部鉄道を設立、ヨーロッパの鉄道王となる | | |
| 1860 | | ロシア中央銀行設立(財政にロスチャイルドの資金が入っていたとされる) | |
| 1861 | | | J.P.モルガンがニューヨークでJ.P.モルガン商會を創業。 |
| 1865 | | | ロックフェラー1世石油販売で成功 |
| 1867 | ◆マルクスが資本論を発表 | | クーン・ローブ商會がNYで創業 |
| 1870 | パチカンに融資開始。カトリック教を金融支配 | | スタンダードオイル設立 |
| 1873 | リオ・テントの設立に参加 | | |
| 1875 | ロスチャイルド資本によってイギリスがスエズ運河会社の最大株主となる | | |
| 1883 | バクー油田の石油販売を開始(シェル石油の前) | | (’80年代に全米の石油市場の80%を独占) |
| 1885 | | | ゴールドマン・サックスがNYで創業 |
| 1888 | ロスチャイルド資本によって南アでダイヤ鉱山が大合同し、デビアス社創業 | | |
| 1891 | | ユダヤ人追放 | |
| 1904 | | 日露戦争→ジェイコブ・シフが日本に対して500万ポンドの外債引き受けで支援 | |
| 1906 | | | モルガン・ロックフェラーの金融資本がウィルソン(後の大統領)に資金援助など |
| 1911 | | | ◆フーヴァー(後大統領)らのロシア利権(鉱山・鉄道・石油の利権シンジケート) |
| 1913 | | | 最高裁がスタンダードオイル社に解体命令 |
| 1914 | 第1次世界大戦(オーストリア＝ハンガリー帝国の皇位継承者フランツ・フェルディナント大公夫妻が銃撃) | | FRB設立(ロスチャイルドとロックフェラー) |
| | | ◆トロツキー(亡命先のニューヨークで記者。パウル・ワールブルグ(ロックフェラー系)から資金援助 ◆レーニン(亡命先のスイスで、ドイツのマックス・ワールブルグ(ロックフェラー系)から資金援助 | |
| 1917 | バルフォア宣言:ユダヤ人国家の建設に踏み出す | ロシア革命(レーニン、トロツキー) 「銀行国有化令」により全銀行が国有化 アメリカ赤十字社のロシア派遣団 | 第1次世界大戦にアメリカ参戦 ジェイコブ・シフがレーニン、トロツキーに2000万ドルの資金提供◆ジェイコブ・シフはロスチャイルドと近接していた |
| 1918 | 第1次世界大戦終結(ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世退位、) | 銀行の資本金は国立銀行に接収 | |
| 1919 | ロンドン金属取引所でロスチャイルド五社による金取引の独占支配確立される | | 外交問題評議会(CFR)設立◆ソビエトへの物資輸出を指向 |
| 1920 | | ◆レーニンは1922年までに4億000万ドルをシフのクーン・ローブ商會(ロスチャイルドが大株主)に返済 | スタンダード石油がロシアのノーベル社を買収(結果損した) |
| 1922 | 英国がソビエト国際銀行に多額出資 | ソビエト社会主義共和国連邦が成立 ソビエト最初の国際銀行設立(銀行共同体) | チェース・ナショナル銀行(ロックフェラー)が米ソ商工會議所設立 |
| 1924 | ロスチャイルド代理人メルシェがパリでフランス石油を設立 | スターリンが国家元首(共産党書記長)に就任 トロツキーを国外追放(その後メキシコで暗殺) | (’20年代にドイツ投資+政財界工作→ヒトラー支援) |
| 1925 | | | チェース銀行とプロム銀行間で輸出入の貿易決済の合意→信用取引の拡大へ |
| 1926 | | | スタンダード石油他がヨーロッパ市場にソ連の石油を輸出する取り決め(’20年代メジャーズの中東進出)◆ロックフェラーからソ連共産党に貸し付けられた7500万ドルで穴埋めされている |
| 1927 | | | スタンダード石油がロシアに石油精製施設を建設→ソ連経済回復の足がかりとなる |
| 1927 | | | サウジ「ジェッタ条約」=中東石油支配の枠組み |
| 1929 | | | 大恐慌(→ロックフェラー主導のアメリカへ) |
| 1932 | | | ルーズベルト就任◆ロックフェラー他がボルシェビキ救援開始 |
| 1953 | | フルシチョフ就任 | |
| 1964 | | ブレジネフ就任 | |